

ようこそ松山国有林へ

五葉山自然観察教育林

住田町上有住の松山国有林の山岳地帯は、ヒメコマツ、ヒバ、ネズコ、ナラ等の天然林が広がっています。また、五葉山山頂に至るまでの区域には貴重な植物群落が存在することから、保護林にも設定しているほか、ほぼ全域が自然公園、保健保安林に指定されています。

さらに、貴重な動植物の保護を図りつつ、森林とのふれあいを重視した森林づくりを行う「森林と人との共生林」に区分して、保健文化・教育活動の場の整備、自然景観の維持に努めており、五葉山自然観察教育林として観察学習に利用しています。



フィトンチッドを浴びよう

標高800mに並び立つブナ林



ヒノキアスナロ(俗称ヒバ)林と天然の稚樹

フィトンチッドとは、樹木などから発散される化学物質で、殺菌性や森林の香りの成分であることから、健康だけでなく癒しや安らぎを与える効果があります。



ブナにできた珍しいこぶ



カツラの落ち立ての葉は甘い香りが漂う

森林の癒しを求めて



紅葉の五葉山中腹



火縄銃に使われたヒバの樹皮

◎森林管理する面積(大槌・気仙川流域)

区分	面積(ha)	比率%
管理面積	30,241	
国有林面積	29,056	96
官行造林面積	1,185	4
うち自然公園	3,096	11
うち保安林	26,795	92
うち保護林等	5,301	18



ブナ実を求めクマの爪跡



今年、松山のドングリは豊作

見学コース及び日程 実施日:H22.10.30(土)	
午前	午後
集合 JR釜石駅(9時発)	プナの広場発(12時45分)
↓ 移動 小型バス	↓ 森林散策
集合 甲子公民館(9時20分発)	森林浴道 ハライ沢発(13時45分)
↓ 移動 小型バス	↓ 森林散策
枯松沢林道マイマイ沢分岐点(9時45分着)	住田町 上有住松山発(14時15分発)
↓ 降車 開会行事(15分)	↓ 開会あいさつ 移動 小型バス
ダム見学ウォーキング出発(10時頃)	解散 甲子公民館(15時10分頃)
↓ 往路のみ 途中 H18~21 谷止工見学・説明	↓ 移動 小型バス
枯松沢林道終点着(10時55分)	解散 JR釜石駅(15時30分頃)
↓ 休息	
枯松沢林道終点発(11時発)	
↓ 移動下山 小型バス	
住田町 上有住松山到着(12時)	天候等により、予定を変更する場合があります。
↓ 森林浴道散策(15分)	
五葉山森林浴道 プナ広場着(12時15分)	
↓ 昼食	

安全・安心を確保する治山事業

ちさん 治山ダム見学会



たにどめこう 木製型枠を生かした谷止工の施設(甲子川上流部 枯松沢H20年完成)

署の沿革

管内の国有林は、藩政時代の伊達藩と南部藩の領有でしたが、版籍奉還により国へ所有が移され官林となったものです。

藩政時代	伊達藩と南部藩の領地
明治21年 9月	岩手大林区署盛派出所設置
明治25年 8月	盛小林区署に改称
大正13年 12月	盛営林署に改称、高田公有林野官行造林署新設
昭和23年 1月	高田公有林野官行造林署廃止(管轄を気仙沼営林署と分割)
昭和27年 7月	大船渡営林署に改称
平成 7年 3月	大槌営林署を統合
平成11年 3月	三陸中部森林管理署に改称



三陸中部森林管理署 庁舎全景(H20.2月完成)

お問い合わせ先
 ◎三陸中部森林管理署
 〒022-0003
 岩手県大船渡市盛町宇津野沢7-5
 TEL050-3160-5910 FAX0192-26-4279
 e-mail t_sanrikucyubu@rinya.maff.go.jp
 ○世田米森林事務所
 〒029-2311
 岩手県気仙郡住田町世田米字川向62-1
 TEL 0192-46-2042 (FAX兼用)
 ○高田森林事務所
 〒029-2205
 岩手県陸前高田市高田町字曲松111-3
 ※連絡は世田米森林事務所まで
 ○大槌森林事務所(上級森林事務所)
 〒028-1131
 岩手県上閉伊郡大槌町須賀町37 7-3
 TEL 0193-42-3202 (FAX兼用)
 ○栗橋森林事務所
 〒026-0411
 岩手県釜石市橋野町34-23-4
 ※連絡は釜石森林事務所まで
 ○釜石森林事務所
 〒026-0045
 岩手県釜石市小川町1-13-10
 TEL 0193-23-5140 (FAX兼用)



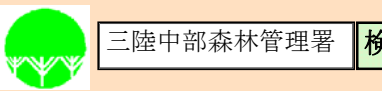
管内図



五葉山麓のイヌブナ樹幹



松山ハライ沢の溪流



三陸中部森林管理署 検索

東北森林管理局 三陸中部森林管理署

私たちは、生活の基本となる水源かん養、山地災害の防止効果、地球温暖化防止効果、森林浴等でのいやし効果など、さまざまな恩恵を森林から受けています。この恩恵をいつまでも与え続けてくれるよう管内の国有林を健全な状態に保つために、自然環境や景観に配慮しながら治山事業を実施しております。

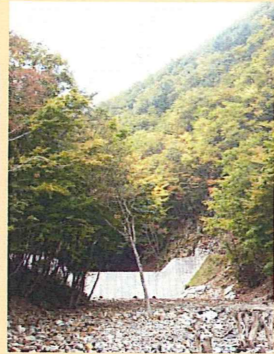
《水源かん養》とは、水源となる水質や水量などを良質で豊かな状態に育むこと。



堤長41m、堤高5.5m、堤体底巾3.65m、木材使用量79m³の治山ダム(H21年完成)

(用語の説明)堤体(ていたい)・・・ダムの本体部分となる名称のことで、ダムの高さを堤高、長さをは堤長と称する。

2級河川「甲子川」右岸支流の枯松沢流域に、大小の「治山ダム」を12基設置しています。



崩壊や浸食により、土砂が上流から流出し堆積した様子



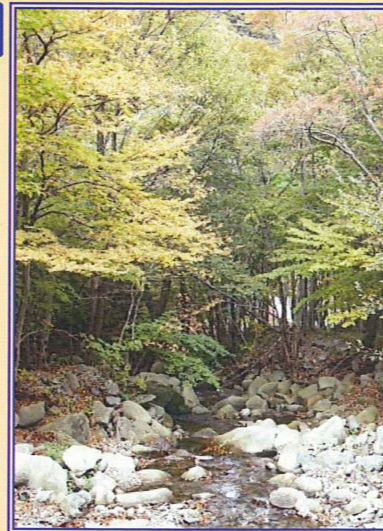
溪流の勾配を緩め、河川の浸食を軽減して、保安林機能を維持する治山ダム(上方がH19年完成)



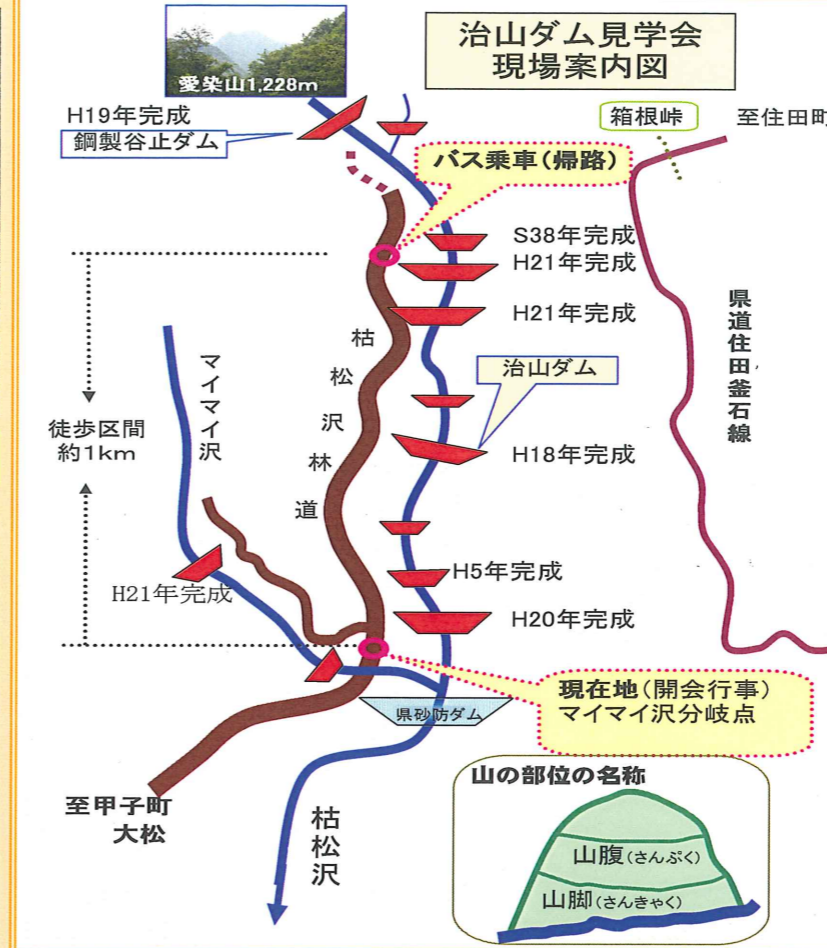
愛染山を背景に堤高が9mともっとも高い治山ダム(H20年完成/表紙写真と同じ)



ダムに土砂がたまり、山脚を固定



枯松沢の溪流



山腹崩壊地の復旧整備のため「土留工」を、溪流には土砂流出防止、山脚固定のため「谷止工」など治山ダムを設置しています。

施工地の概況			
水源	愛染山(1,228m)		
地況	標高340m、渓床勾配1~9%		
林況	ナラほか広葉樹、水源かん養保安林		
荒廃現況	崩壊地面積1.94ha、荒廃溪流延長1,600m、不安定土砂量96,730m ³		
保全対象	人家125戸、道路6.8km、鉄道0.03km、水田1ha、枯松沢堆積場		
完成年度	ダム堤長	ダム堤高	ダム体積
平成18	45m	4.5m	478m ³
平成20	45m	9m	984m ³
平成21	41m	5.5m	520m ³
第一/第二	34m	5.5m	437m ³
			木材使用量
			76m ³
			145m ³
			79m ³
			60m ³



CO2削減 地球温暖化防止にむけ 間伐材利用

間伐材等の木材を公共事業に積極的に利用するよう働きかけるとともに、当署が行う治山工事や林道工事でも活用に努めています。

【木製型枠パネルとは】
現場打ちコンクリート構造物の型枠として主に用います。従来の合板などによる型枠と異なり、モルタル養生後に取り外さないタイプ(残存型)の型枠であり、景観に配慮された工法として採用されています。

- 特徴 —
- ・型枠を脱着する必要がない。
 - ・残存型であるため、廃材が発生しない。
 - ・現地ではパネル同士の組立でよい。
 - ・周囲の景観にとけこんでいる。

